



【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年		第1学年(55時間)	第2学年(86時間)	第3学年(77時間)	
探究課題		「人と関わって得る知」 ・職業について学ぶ。 ・校外体験学習(地域探究活動)から学ぶ。 ・防災のための安全な町づくりと取組について考える。 ・地域の伝統や文化を体験から学ぶ。	体験して獲得する「生きて働く知」 ・職場体験学習から学ぶ。 ・校外体験学習(野外活動)から学ぶ。 ・防災のための安全な町づくりと取組について考える。 ・地域の伝統や文化を学ぶ。	「自ら学んで知る知」 ・自己の将来を考える。 ・校外体験学習(修学旅行)から学ぶ。 ・防災のための安全な町づくりと取組について考える。 ・地域の伝統や文化を学ぶ。	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識の概念化	・自分たちの生活に関わる職業について知るとともに、職につくための適性或資格について理解することができる。 ・様々な課題に対して自らの視点で考え、さらに他者との関わることで大きな学びがあることを理解することができる。 ・地域には様々な文化や活動が行われていることを知り、町づくりや地域の方々との生活とのつながりを理解することができる。	・自らの進路や社会生活について関わっている人やもの、ことについて理解することができる。 ・様々な課題に対して自らの視点で考え、さらに他者との関わることで大きな学びがあることを理解することができる。 ・地域には様々な文化や活動が行われていることを知り、町づくりや地域の方々との生活とのつながりを理解することができる。	・選択可能な進路は多岐に渡ることを知るとともに、それぞれの特徴について理解することができる。 ・様々な課題に対して自らの視点で考え、さらに他者との関わることで大きな学びがあることを理解することができる。 ・地域には様々な文化や活動が行われていることを知り、町づくりや地域の方々との生活とのつながりを理解することができる。
		技能の身体化	・調査活動や情報収集、目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて、それらの手順を様々な場面や状況で活用可能なものとして身体化し、安定的に発揮することができる。	・各教科等で身に付けた知識及び技能等を総合的に活用・発揮することで、学習が深化するよさを理解することができる。	
		探究的な学習のよさの理解	・課題解決に向けて必要なことを自ら考え、探究を自律的に進めることができる。		
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだすことができる。 ・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。		
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択することができる。		
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けることができる。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析することができる。		
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 ・各教科で身に付けた技能を活用して表現することができる。		
	学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性	・自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。		
		自己理解・他者理解	・探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。		
		将来展望・社会参画	・進んで実社会・実生活の問題を知るとともに、積極的に地域の活動に参加しようとする。		

【学習活動】
 ・地域の実態、生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。
 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。
 ・学習成果を表現する場として文化発表会を活用する。

【指導方法】
 ・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。
 ・個に応じた指導の工夫を行う。
 ・体験活動を重視する。
 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
 ・言語により整理分析したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。
 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
 ・全校指導体制を組織する。
 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
 ・ワークショップ研修を重視する。
 ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。
 ・地域の教育資源をデータ化、教材化するとともに、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実。
 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
 ・個人内評価を重視する。
 ・指導と評価の一体化を充実する。
 ・授業分析による学習指導の評価を重視。
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等で育成する資質・能力】

国語	社会	理科	数学	外国語	美術
<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な国語の知識や技能 言語文化に対する親しみや理解 筋道立てて考える力や論理的に考える力、人とかかわりの中で伝え合う力 自分の思いや考えを確かなものとしたり、広げたり深めたりする力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事象・現象についての理解 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 観察、実験などを行い、科学的に探究する力 	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの理解 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 数学を活用して事象を論理的に考察する力 数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点についての理解 創造的な表現 主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力 美術や美術文化に対する見方や感じ方 など
音楽	保健体育	技術家庭	特別の教科 道徳	特別活動	
<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性についての理解 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと など 	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動の特性に応じた技能 個人生活における健康・安全についての理解 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し他者に伝える力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 生活と技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、の課題を解決する力 など 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについての理解と行動の仕方 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする力 など (キャリア・ノートの活用) 	

【小学校や、進学校との連携】

【小学校との連携】
 ・小中連絡会を通して互いの情報を伝え合い、共通理解のもと連携した指導を行う。
 ・仙台自分づくりノートによる学習の記録を行う。

【進学校との連携】
 ・仙台自分づくりノートを引き継ぎ、中学校での学習内容が見えるようにする。